項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	新居浜工業高等専門学校
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ニイハマコウギョウコウトウセンモンガッコウ
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	G138110110488
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	愛媛県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立高専
	科目名	インターンシップＡ
	学部･研究科等名	機械工学科、電気情報工学科、電子制御工学科、生物応用化学科、環境材料工学科
	担当教職員名･役職	本科４年生学級担任、学生課教務係
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	48
	受入企業等数	46
	受入企業等名	（株）クラレ、東芝EIコントロールシステム（株）、（株）シーマイクロ、（株）ライトウェル、（株）ハートネットワーク、（株）タイワ、BEMAC（株）、新和工業（株）、（株）西条環境分析センター、（株）イージーエス、（株）新来島どっく、（株）セラテック、登尾鉄工（株）　他33機関
	インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ
		8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ
		9.中小企業でのインターンシップ
		11.その他
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	大学、大学院、県や国等の機関でのインターンシップ
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
		2.企業等における課題の解決（例：ワークショップ、ＰＢＬ型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等）
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	企業等が設定した実習期間、実習内容（テーマ）等から、学生自身の判断により受入企業等を選定し、実習を行う。企業等における業務への従事の他、課題解決ワーク等、実習内容は様々である。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している
		4.当該インターンシップは、必修科目として実施している
		6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
		8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	高等専門学校　4年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	高等専門学校　2単位

	2-5.上記回答内容に関する詳細	本科4年次においてインターンシップＡ（2単位）、またはインターンシップＢ（1単位）を専門教育科目として実施しており、生物応用化学科においては必修科目、その他の学科においては選択科目としている。また、インターンシップは、夏季休業期間中に行う。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	外部講師による事前マナー講習会への参加を必須としている。また、インターンシップ先について、必ずその業務内容、製品、研究内容などについて事前学習を行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	インターンシップ終了後、報告書を作成して振り返りを行うこととしている。また、学内でインターンシップ報告会を実施している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	学生のインターンシップ期間中に担当教員による企業訪問を実施している。その際に学生との面談・声掛けの実施や、学生の成果発表の場に参加している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準（例：ルーブリック）を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	シラバスにおいてルーブリックを整備し、共有している。
	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している

要素⑤		3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	10日間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	複数の実習先で合わせて10日間以上
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	実働10日間以上インターンシップに参加することとしている。1つの実習先で10日間を確保できない場合は、複数の実習先のインターンシップに参加して、合計10日間以上の実習期間を確保するよう、指導している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	実習証明書において受入企業等に学生の評価をお願いしている。また、企業等の担当者と企業訪問時や面談の際にインターンシップの内容や期間等に関して打ち合わせを実施している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=40
問い合わせ先	大学等名	新居浜工業高等専門学校
	担当部署名	学生課　教務係
	担当者役職名	係員
	担当者氏名	亀岡　正寛
	電話番号	0897-37-7724
	メールアドレス	kyoumu-c.off@niihama-nct.ac.jp